

平成 29 年度事業報告

公1 事務局事業	70, 661, 596 円
----------	----------------

1 文化事業 70, 661, 596 円

平成 28 年 9 月に設立した「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援したほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施した。

(1) アーツカウンシル新潟の運営 56, 920, 117 円

東京 2020 大会に向けた文化プログラムに全市一体で取り組み、市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、国際観光の振興や経済活動の推進につなげ、大会終了後もその成果を継承し、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築することを目的に、1.市民文化芸術活動支援、2.調査・研究、3.情報発信、4.企画立案の機能を有する専門人材による組織「アーツカウンシル新潟」を公益財団法人新潟市芸術文化振興財団内に設立した。また、市主催の「水と土の文化創造都市市民プロジェクト」について、アーツカウンシル新潟と連携して行うため、市の兼務職員を 1 名増員した。

【人員確保・人材育成】

○H28 年度 専門人材の募集・配置 [PD1 名、PO2 名、スタッフ (臨時) 1 名]

・設立日 平成 28 年 9 月 26 日

○H29 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO5 名、スタッフ (臨時) 1 名]

① アーツカウンシル事業 (51,208,485)

【文化芸術活動の支援】

文化芸術等に関する市民団体等の相談窓口を通じて、企画、広報、財源確保策などの助言、支援を行った。

また、市民主体の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、昨年度に引き続き当財団が実施している既存の文化芸術活動支援助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援を行うとともに、基盤、仕組みづくり及び環境の創出をめざす取り組みに特化した助成として「文化芸術基盤整備促進支援事業」を創設、支援を開始した。また、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行った。

加えて、東京 2020 大会に向けた文化プログラムである「beyond2020 プログラム」の認証団体となったことから、事務手続きを担当し、市内の団体に対する助言（相談）・支援を行った。

あわせて、「プロジェクトスクール@3331」のライブ配信、「水と土の文化創造都市市民プロジェクト 2017」における人材育成プログラムの企画運営支援等、市内で文化芸術活動に取り組む市民及び関係者（行政職員含む）等の人材育成、啓蒙、ネットワーク形成等の機会を創出した。

○相談窓口の開設

・相談対応件数 197 件

- ・一般相談 43 団体等から 49 件

- ・助成関連 148 件

○既存助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援

- ・平成 29 年度助成事業の募集・審査・助言（相談）

（申請件数 32 件、採択件数 21 件、総額 242.5 万円）

○文化芸術基盤整備促進支援事業の募集・助言（相談）・審査・支援

（申請件数 8 件、採択件数 8 件、総額 424.5 万円）

○市や国、民間基金等が実施する助成制度を活用した支援

- ・市民団体の助成原資確保に向けた平成 29 年度国際交流基金への補助金申請

（申請数 1 件、採択額 148 万円）

- ・新潟市「水と土の文化創造都市市民プロジェクト 2017」の募集・審査・助言等

（採択（実施）20 件（応募 38 件）、589 万円）

○beyond2020 プログラム認証事務（受付、審査等）

- ・申請受付開始 平成 29 年 6 月 12 日～（自治体最初の窓口）

- ・認証件数 99 件

○文化庁・アーツ千代田 3331 主催「プロジェクトスクール@3331」ライブ配信の実施

- ・ 実施回数：計 11 回、参加（聴講）者数：のべ 172 人

- ・ 配信内容等 ※講師敬称略

① プロジェクトの作り方 藤浩志 [8 月 30 日、28 人]

② プロジェクトの基礎の基礎 森司 [9 月 5 日、18 人]

③ プロジェクトのお金の話 山内真理 [10 月 23 日、15 人]

④ プロジェクトにおける、アートとデザイン 鈴木康広 [10 月 30 日、9 人]

⑤ オリンピックと文化プログラム 太下義之 [11 月 8 日、9 人]

⑥ プロジェクトを始めること、続けること 清水義次 [11 月 27 日、11 人]

⑦ プロジェクトの法則 桶田大介 [12 月 4 日、12 人]

⑧ プロジェクトの著作権 桶田大介 [12 月 11 日、12 人]

⑨ メディアはプロジェクトを動かすドライバーである 馬場正尊

[12 月 22 日、19 人]

⑩ 企業と文化の関わり方 遠山正道 [1 月 9 日、19 人]

⑪ コミュニティデザイン 山崎亮 [1 月 23 日、20 人]

○「水と土の文化創造都市市民プロジェクト 2017 人材育成プログラム」の企画運営支援

- ・ 実施回数：計 8 回（市内 8 区各 1 回）、参加者数：のべ 127 人

① 地域拠点の作り方、拠点機能の活かし方（多田稔子）

[9 月 3 日 南区・天昌堂サロン 17 人]

② 食と農の創造産業、子どもたちの育成（足立靖）

[9 月 30 日 江南区・えんではよこごし 13 人]

③ お互いの多様性を理解し、共に生きる（上田假奈代）

[10 月 1 日 東区・東区プラザ 13 人]

④ 地域包括ケアとまちづくり、文化芸術がつなぐ地域の絆（岩名礼介）

[10月14日 中央区・ユニゾンプラザ 17人]

- ⑤ 商店街をまちの交流地点（オタネイブース）にする（深澤孝史）

[10月15日 秋葉区・町屋ギャラリー薩摩屋 10人]

- ⑥ 伝統芸能の再生とコミュニティにおける交流と連携の創出（小岩秀太朗）

[10月18日 北区・高森薬師庵 21人]

- ⑦ 文化交流で交流人口を増やし、地域の魅力を形作る（朝倉由希）

[10月21日 西蒲区・いわむろや 11人]

- ⑧ 大学の活力を地域で活かす（藤浩志）

[10月28日 西区・内野まちづくりセンター 25人]

【調査・研究】

文化芸術活動に関する相談受付、文化施策の企画・立案に必要な調査・研究を行った。

- 「大地の芸術祭」の里越後妻有 2017 春視察（5月7日、杉浦・大内・一之谷）
- 「2017 国際児童青少年演劇フェスティバルおきなわ第14回りっかりっかフェスタ」視察（7月27～7月30日、杉浦・大内・福島・一之谷・北沢・高橋・池口）
- 国際北陸工芸サミット工芸ハッカソン公開プレゼンテーションおよび審査の視察（11月9日、北沢・大内）
- 鹿児島県鹿児島市「しょうぶ学園」視察（1月29日～1月30日、大内・北沢）
- 平成29年度厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業実践報告会出席（2月9日～2月10日、大内）
- Culture Nippon シンポジウム in 横浜出席（2月26日～2月28日、一之谷）
- アーツコミュニケーション・ヨコハマ助成事業報告会視察（3月2日～3月4日、大内・福島）
- 英国ホールにおける音楽教育・高齢者向けプログラム、音楽科の育成プログラム（社会貢献）視察 3月11日～3月19日、北沢）
- 静岡県浜松市「クリエイティブサポート・レツツ」視察（3月14日、大内）

【情報発信】

東京2020大会に向けた新潟市における文化プログラムを効果的に発信し、海外からの誘客につながる情報を発信するため、文化情報プラットフォームと連携（オープンデータ機能活用）したホームページを構築・運営するとともに、アーツカウンシル新潟が行う支援情報のほか、文化プログラム推進に向けて効果的に情報発信を行うためのツールを運営した。

また、アーツカウンシル新潟のPRと市民文化芸術活動団体の掘り起こしや交流によるネットワーク形成等を目的に、市民が気軽に相談・利用できる文化情報スペースを運営するとともに、同スペースを活用し、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を計7回開催した。

- アーツカウンシル新潟 公式ホームページの構築・運用

- ・ 掲載記事数：176、年間ビュー数：55,821 ビュー

- アーツカウンシル新潟 facebook ページの運用

- ・ 投稿件数（4月1日～3月31日）：114件、ページいいね数：537件、ページフォロワー数：580件

- 文化プログラムネットワークメールの運用

- ・ 主な配信内容：beyond2020 認証事業の紹介、アーツカウンシル新潟主催イベントの紹介
- ・ 配信回数（4月1日～3月31日）：7件、登録件数：86件

○文化情報スペースの開設・運営

- ・ アーツカウンシル新潟の事務室に、市民が気軽に文化芸術に関する情報を収集、相談することのできる文化情報スペースとして平成28年度に開設したスペースを運営し、文化情報蓄積等に資するネットワーク形成を図った。
- ・ 文化情報スペース利用状況 153回／年

○ゲスト講師を交えた交流企画「語りの場」の開催

- ・ 実施回数：計7回、参加114人
 - 第1回 社会包摶を考える 吉村衣世 [5月24日、22人]
 - 第2回 デザインで海外に進出する 高田昭代 [6月6日、19人]
 - 第3回 風景から新潟を考える ハナムラチカヒロ、松井大輔 [11月19日、7人]
 - 第4回 文化芸術のためのお金の話 杉浦幹男 [12月13日、12人]
 - 第5回 野菜が教えてくれる地域の魅力 新開茂樹 [1月26日、22人]
 - 第6回 土地の記憶を集め、残す 真喜屋力 [2月19日、19人]
 - 第7回 「もう一度、来たい」をつくり出す 中谷暁人 [3月26日、13人]

※講師敬称略

※ただし、第3回は旧第四銀行住吉町支店日本の間で開催

【企画・立案】

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行ったほか、市職員向けの勉強会を開催した。また、新潟市文化創造交流都市ビジョンの成果検証の方法に関して、府内の関係所属の担当職員からなる文化創造推進本部ワーキンググループ会議及び文化創造推進委員会を開催し、それぞれ事業の成果（アウトカム）及び指標について検討を行った。また、市主催事業に対して、専門人材として支援を行った。

加えて、地域アーツカウンシルの設立を検討する自治体からの視察等について、積極的に受け入れを行った。

○ 社会包摶に関する文化政策勉強会

- ・ 開催日：平成29年7月11日
- ・ 場所：文化政策課会議室
- ・ 参加者数：14名
- ・ テーマ：「バリア」の意識化と「アクセシビリティ」の向上にむけて－新潟市の文化施設ができること－

○ 「日仏都市・文化対話」等における社会包摶プロジェクトの実施

- ・ フランス・ナント市で開催された「日仏都市・文化対話 2017」の関連イベントとして、会議テーマに基づき、過去に新潟市美術館で開催した「アナタにツナガル展」(2016年)を紹介するパネル展示を、新潟市（文化政策課）・新潟市美術館・アーツカウンシル新潟の三者で企画実施した。
- ・ 社会包摶に向けた取組にかかる調査の一環として、演劇を通じてネットワークづくりと人材育成を進めるため、実行委員会を立ち上げ、モデル事業としてセミナー・ワークシ

ヨップ「中島諒人氏と「インクルージョンと演劇」を考える二日間」（10月2日、3日）及びTBTB／ビンビンファクトリー公演「アザー・プレイズ/演劇とダンスの短編劇場」（10月4日）を実施した。

- 「新潟インターナショナルダンスフェスティバル（NIDF）2017」の開催運営支援
 - ・ 大邱市立舞踊団（韓国）・T.H.E ダンスカンパニー（シンガポール）、城市当代舞踊団（中国）の作品上演（各1公演）および芸術監督によるワークショップ、Noism1（日本）の作品上演（3公演）、4か国の芸術監督による国際シンポジウムを実施（9月26日～12月17日）。来場者数 2,519名。
- 「水と土の芸術祭2018」にかかる企画運営支援
 - ・ 市民プロジェクト、こどもプロジェクトの企画にかかる助言
 - ・ シンポジウムの企画
- 「新潟市芸術創造村・国際青少年センター」開設に向けた企画支援
 - ・ 「新潟市芸術創造村・国際青少年センター（平成30年5月開設予定）」の指定管理者候補者選定にあたって、評議会議の委員として助言を行った。
- 観察受入実績
 - ・ 受入自治体数：9自治体（市及びAC新潟受入数 合計）
 - ・ 受入自治体名：名古屋市（8月3日）、宮崎県（8月29日）、岡山県（9月1日）、高知県（9月7日）、堺市（11月7日）、京都市（12月1日）、岩手県（12月11日）、品川区（2月9日）、岡山市（2月9日）

② 文化庁委託・補助事業関連 （5,711,632）

- 平成29年度戦略的芸術文化創造推進事業「地域文化の発掘・発信及び社会的課題解決に向けた文化プログラムのモデル企画・フォーラム開催等事業」
 - ・ 文化庁と連携し、アーツカウンシル新潟の持続的かつ効果的な運営とともに、国内における地域アーツカウンシルの継続・発展に向けて、ほか、地域アーツカウンシルのネットワークミーティングやフォーラム等を開催した。
- 平成29年度「伝統音楽普及促進支援事業合同研究事業「伝統音楽の指導法を学ぶ研究会」
 - ・ 伝統音楽の指導者が減少している状況、小中学校の音楽の授業で伝統音楽が指導要領に盛り込まれている状況を鑑み、教育現場における伝統音楽の指導・活用法を研究するため、小中学校の教諭を対象とした長唄と日本舞踊を題材にした研究会を4回にわたり開催した。
- 平成30年度文化庁創造都市推進事業への応募申請・採択
 - ・ 北東アジアの文化交流拠点形成及びアーツカウンシル新潟の持続的な体制構築に資することから、創造都市ネットワーク日本（CCNJ）事業の受託に向けて応募申請し、採択された。採択額 12,750,309円。

（2） 支援助成事業 2,819,718 円

市民の自主的な文化芸術活動の充実・活性化と新潟市の文化芸術活動の振興を目的として、市民が行う文化芸術事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上期は上限20万円、下期からは制度改革を実施し、上限50万円で助成金を交付した。（助成対象事業は審査会に諮って決定）

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付金額
平成 29 年度 上 期	平成 29 年 4 月 1 日から 平成 29 年 9 月 30 日まで	17 件	12 件	1,260,000 円
平成 29 年度 下 期	平成 29 年 10 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	15 件	9 件	1,165,000 円
合 計		32 件	21 件	2,425,000 円

(3) 主催事業 6,353,133 円

① ミニライブコンサート (175,425)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出すとともに、市役所や区役所を訪れた市民が気軽に音楽を楽しむコンサートを開催した。

開催日 平成 29 年 4 月～9 月の毎月第 3 水曜日及び平成 29 年 9 月 6 日（水）

午後 0 時 20 分～午後 0 時 50 分

場 所 市役所本庁舎 1 階市民ロビー（4 月～7 月）

中央区役所（NEXT21）1 階アトリウム（8 月～9 月）

② 坂口安吾顕彰事業 (6,177,708)

新潟市が管理する安吾 風の館（旧市長公舎）で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭、第 8 回安吾講座－もっと知りたい安吾の魅力－（参加者 16 名）の実施、小中学生の総合学習や新潟市が実施する動く市政教室、さわやかトーク宅配便への協力等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関係資料の調査研究を行った。

・「安吾をめぐる人々 V 大井廣介という男」展

開催日 平成 29 年 4 月 1 日～7 月 23 日（98 日間）

内 容 大井廣介（1912-1976）は、文芸評論家であり、異色の野球評論家であるが、何より「昭和 10 年代後半における最も良質な文芸雑誌」と称された『現代文学』を主宰した人物である。安吾は『現代文学』の同人として、制約の多い戦時中に発表の場を得、大井や同人たちと過ごした時間が、戦後の活躍の礎にもなった。展覧会では大井との書簡を中心に二人の交流を紹介。

春の朗読会 5 月 6 日 朗読作品「大井廣介といふ男」

朗読：中津川英子（フリーアナウンサー）（参加者 15 名）

入場者 1,787 人

・「安吾と歴史一切支丹への興味」展

開催日 平成 29 年 8 月 5 日～11 月 26 日（98 日間）

内 容 安吾が歴史に興味をもったのは、1940 年小田原に移り住んだ際、三好達治から切支丹シドチの文献を読むよう勧められたのがきっかけだったといわれている。「切支丹が病みつきになり、手当たり次第切支丹の本ばかり」読み、長崎、島原、天草まで取材に出かけ、長崎の図書館では史料を書き写している。切支丹への興味は、戦国武将の動向や、生き方へと移り、

さらには各地の風土・文化へと関心の幅を広げていった。歴史小説を書くきっかけともなった、切支丹への興味を史料や書簡、作品を通して紹介。

入場者 2,039 人

・「安吾の将棋観戦記」展

開催日 平成 29 年 12 月 9 日～平成 30 年 3 月 25 日 (86 日間)

内 容 今年の将棋界は、藤井聰太氏の躍進に尽きるが、そんな時勢をとらえて、安吾が書いた将棋観戦記を中心とした展覧会。1935 年名人位が実力制となって以来、木村義雄が 10 年間不敗で将棋界に君臨していた。その木村名人が気鋭の塚田正夫に敗れ名人位を失った対戦、そしてその 2 年後に復位した戦い、また新しい将棋を打ち出して登場した升田幸三との一戦、安吾はそれぞれを観戦して、「勝負師」「散る日本」などの作品を書いている。大戦に敗れた日本とも比して、安吾は勝負そのものの意義や、対戦する棋士の一挙手一投足に注目していた。時系列に記されたメモがどのように作品としてまとめ上げられたかを、観戦メモと自筆原稿を対照させて紹介。

入場者 995 人

(4) 共催事業 4,472,172 円

共催事業

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・第 31 回新潟市伝承芸能保存会 郷土芸能公演「郷芸」 (300,000)

開催日 平成 29 年 7 月 12 日 入場者 176 人

- ・2017 にいがた総おどり祭（下駄総踊り） (1,000,000)

開催日 平成 29 年 9 月 16 日～18 日 来場者 200,000 人

- ・第 65 回新潟市芸能まつり (2,500,000)

開催日 平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 1 月 14 日 入場者 15,022 人

- ・第 49 回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：平成 29 年 10 月 11 日～15 日／後期：平成 29 年 10 月 18 日～22 日

入場者 5,342 人

(5) 表彰顕彰事業 96,256 円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 5 部門
- ・アークベル県民アマチュア絵画展 2 部門
- ・新潟光風会展 1 部門
- ・新潟県工芸会展 1 部門
- ・二科新潟展 1 部門

(6) 芸術家支援事業 200 円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、融資金の振込などの事務を受託した。

- ・助成金等内定者資金融資制度
- 融資件数 0 件 融資金額 0 円

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

- ① 第1回(定時) 平成29年6月6日
 - ・平成28年度事業報告及び決算について
 - ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・理事の辞任に伴う補欠選任について
- ② 第2回 平成30年3月30日【書面】
 - ・定款の変更について
 - ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・理事の辞任に伴う補欠選任について
 - ・監事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

- ① 第1回 平成29年4月1日【書面】
 - ・常勤役員の報酬の金額等について
- ② 第2回 平成29年5月23日
 - ・平成28年度事業報告及び決算について
 - ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ③ 第3回 平成29年10月20日
 - ・規程、規則の一部改正(育児休業等規程)について
 - ・退職給付引当資産の一時的流用について
 - ・助成事業について(報告)
 - ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)
- ④ 第4回 平成30年3月28日
 - ・規程、規則の一部改正(給与規程、処務規程)について
 - ・常勤役員の報酬の金額等について
 - ・資金運用規程の制定について
 - ・平成29年度補正予算について
 - ・新潟県民会館「新潟県文化発信プログラム」特定費用準備資金取扱規程の制定について
 - ・平成30年度事業計画及び予算について
 - ・第2回評議員会(書面)の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

公2 芸術文化会館・音楽文化会館・県民会館事業**1, 340, 343, 552 円****○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館****1, 198, 662, 093 円****1 文化事業 531, 641, 192 円**

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館、県民会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図った。

(1) 音楽事業 172, 882, 607 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、ホール・オペラ公演、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらにオルガンの活用事業、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めた。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

① 鑑賞事業 (134,494,502)**－東京交響楽団シリーズ－****・東京交響楽団新潟定期演奏会**

第 101 回 平成 29 年 4 月 23 日(日) ～ホルスト：組曲「惑星」～

第 102 回 平成 29 年 9 月 24 日 (日) ～ドヴォルザーク：交響曲第 9 番～

第 103 回 平成 29 年 10 月 29 日 (日) ～R=コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」～

第 104 回 平成 29 年 12 月 3 日 (日) ～ベートーヴェン：交響曲第 3 番～

第 105 回 平成 30 年 1 月 14 日 (日) ～ムソルグ斯基：組曲「展覧会の絵」～

第 106 回 平成 30 年 3 月 4 日 (日) ～モーツアルト：歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲～

・コンサートホールへようこそ～わくわくキッズコンサート(5回公演)

平成 29 年 10 月 31 日(火)・11 月 1 日(水)

・特割コンサート 平成 29 年 11 月 1 日(水)

・東響定期 + α 茂木大輔オーケストラコンサート No.13 平成 29 年 10 月 8 日(日)

・東響定期 + α ピアノシリーズ No.36 「萩原麻未」 平成 29 年 11 月 23 日(木・祝)

・東響定期 + α 室内楽シリーズ No.32 「ダネル弦楽四重奏団」 平成 29 年 9 月 28 日(木)

－ピアノ・リサイタルシリーズ－

・ピアノシリーズ No.36 「萩原麻未」 (再掲) 平成 29 年 11 月 23 日(木・祝)

－室内楽シリーズ－

・室内楽シリーズ No.32 「ダネル弦楽四重奏団」 (再掲) 平成 29 年 9 月 28 日(木)

—オルガンシリーズ—

- ・山本真希リサイタルシリーズ No.23
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.24
- ・オルガン・クリスマスコンサート 2017

平成 29 年 10 月 6 日(金)
平成 30 年 3 月 21 日(水・祝)
平成 29 年 12 月 2 日(土)

—ホール体験事業—

- ・1コインコンサート

- Vol.88 「オルガン」
- Vol.89 「ピアノ・トリオ」
- Vol.90 「声楽／バリトン」
- Vol.91 「ピアノ」
- Vol.92 「弦楽三重奏」
- Vol.93 「クラリネット」

平成 29 年 4 月 13 日(木)
平成 29 年 5 月 12 日(金)
平成 29 年 6 月 7 日(水)音文
平成 29 年 7 月 20 日(木)音文
平成 29 年 10 月 17 日(火)
平成 29 年 12 月 8 日(金)

—その他—

- ・加羽沢美濃ピアノ・リサイタル (LFJ 新潟 2017)
- ・音文 40 週年記念連続リサイタル①前橋汀子
- ・音文 40 週年記念連続リサイタル②堤剛
- ・ホールネットワークオペラ「トスカ」
- ・オペラシアターこんにゃく座

平成 29 年 4 月 29 日(土・祝)
平成 29 年 7 月 21 日(金)音文
平成 29 年 9 月 2 日(土)音文
平成 29 年 10 月 15 日(日)
平成 29 年 12 月 24 日(日)

② 育成・普及事業 (38,388,105)

—オルガン事業—

- ・オルガン普及プログラム 工事休館のため、開催なし

—市民参加合唱団—

- ・にいがた東響コーラス

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

—ジュニア等育成事業—

- ・ジュニアオーケストラ教室育成事業
 - 第 36 回演奏会
 - クリスマス演奏会
- ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会
 - 第 31 回幹事会
- ・ジュニア合唱団育成事業
 - 第 27 回定期演奏会
 - クリスマス演奏会
 - 第 40 回新潟県少年少女合唱団合同演奏会
 - 第 5 回にいがたジュニアコーラス・フェスティバル 2018

平成 29 年 9 月 17 日(日)
平成 29 年 12 月 23 日(土・祝)

平成 29 年 5 月 16 日(火)佐世保

平成 29 年 7 月 23 日(日)県民会館
平成 29 年 12 月 17 日(日)音文
平成 29 年 8 月 20 日(日)見附

平成 30 年 2 月 11 日(日)北区文化会館

・ジュニア邦楽合奏教室育成事業	
和楽器体験講習会	平成 29 年 4 月 1 日(土)
第 22 回定期演奏会	平成 29 年 7 月 30 日(日)音文
・ジュニア音楽教室第 14 回スプリングコンサート	平成 30 年 3 月 31 日(土)

—その他—

・オペラ「トスカ」プレ講座	平成 29 年 9 月 15 日(金)
・りゅーとぴあアウトリーチ事業	
アウトリーチ登録アーティストジョイント・リサイタル	
アウトリーチ (市内小学校ほか)	平成 30 年 3 月 24 日(土)秋葉区文化会館
平成 29 年 4 月 21 日(金)～平成 30 年 3 月 11 日(日)全 38 回	
政令指定都市アウトリーチセミナー	平成 29 年 6 月 6 日(火)～8 月 23 日(水)
同セミナー付随 大学生アーツ・マネジメント研修	
平成 29 年 8 月 18 日(金)～21 日(月)	
・気軽に音ステージ	平成 29 年 6 月 4 日(日)音文
・おんぶん・リレーコンサート	平成 29 年 11 月 23～25 日(木～土)音文
・コンサートホール企画連絡会議	平成 29 年 7 月 26・27 日(水・木)札幌 平成 30 年 3 月 5・6 日(月・火)東京

(2) 演劇事業 175, 986, 151 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、公共の劇場や製作会社が製作した作品及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指した。さらに「物語の女たちシリーズ」「りゅーとぴあプロデュース」の企画により新潟発のオリジナル作品を創造し、全国に向けて発信した。また、育成事業では「演劇スタジオキッズ・コース APRICOT」を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、市内の公共ホールとも連携を組み、広く演劇に携わる人材の育成と演劇活動の振興を図った。

① 鑑賞事業 (52,563,314)

・「フェードル」 1回公演	平成 29 年 5 月 3 日(水)
・「第二十九回ふるまち新潟をどり」 2回公演	平成 29 年 9 月 24 日(日)
・「謎の変奏曲」 1回公演	平成 29 年 10 月 3 日(火)
・「ミッドナイト・イン・バリ」 1回公演	平成 29 年 10 月 22 日(日)
・「笑った分だけ、怖くなる Vol.2」 1回公演	平成 29 年 11 月 3 日(金)
・キャラメルボックス「光の帝国」 1回公演	平成 29 年 11 月 5 日(日)
・ナイロン 100℃ 「ちょっと、まってください。」 1回公演	平成 29 年 12 月 20 日(水)
・水都寄席「第 19 回 春風亭小朝独演会」 1回公演	平成 29 年 12 月 23 日(土)
・「かがみのかなたはたなかになかに」 2回公演	平成 30 年 1 月 7 日(日)～8 日(月)
・NE/ST 第 6 弾 ハイバイ「ヒッキー・ソトニデテミターノ」 2回公演	平成 30 年 2 月 25 日(日)
・「シャンハイムーン」 1回公演	平成 30 年 3 月 18 日(日)

② 育成・普及事業 (11,751,684)

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT 通年(発表公演:夏季/アウトリーチ/春季)
 - APRICOT2017 夏季公演「小公女」 4回公演
平成29年8月11日(金)~12日(土) 新潟市北区文化会館
 - APRICOT2018 春季公演 スタジオトライアル公演「ハイジ」 6回公演
平成30年3月17日(土)~20日(火) スタジオA
 - APRICOT アウトリーチ公演 平成30年1月27日(土)・28日(日) 東区プラザ
 - APRICOT 演劇体験ワークショップ 2回
平成29年8月20日(日)
平成30年3月25日(日)
- ・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ(講師:岩井秀人)
2回 平成29年12月8日(金)・9日(土)

③ 新潟発創造事業 (111,671,153)

- ・物語の女たちシリーズ第12弾「大石内蔵助の妻 りく」 出演/佐久間良子
 - 平成29年10月9日(月) 1回公演 能楽堂
 - 平成29年10月14日(土)・15日(日) 2回公演 あうるすぽっぽ
- ・物語の女たちシリーズ第2弾「燃えよ剣」(再演) ツアー公演 出演/十朱幸代
 - 平成29年9月29日(金) 厚木公演
 - 平成29年10月28日(土) 豊川公演
- ・りゅーとぴあプロデュース「エレクトラ」 出演/白石佳代子、高畠充希 ほか
 - 平成29年4月14日(金)~23日(日) 12回公演 世田谷パブリックシアター
 - 平成29年4月25日(火)・26日(水) 2回公演 劇場
 - 平成29年4月29日(土)・30日(日) 2回公演 兵庫県立芸文センター
 - 平成29年5月2日(火) 1回公演 相模女子大学グリーンホール
 - 平成29年5月6日(土)・7日(日) 2回公演 水戸芸術館
- ・りゅーとぴあプロデュース「星の王子さま」 出演/井上芳雄 ほか
 - 平成29年6月29日(木) 1回公演 音文・ホール
 - 平成29年8月8日(火)・9日(水) 4回公演 東京芸術劇場

(3) 能楽事業 25,677,604 円

伝統様式に則った本格的な能舞台の舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした鑑賞公演と、能狂言に対する基礎的な知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催した。また、子どもたちを対象としたお囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催して若年層への能楽普及を図った。

① 鑑賞事業 (22,116,284)

- ・「春の能楽鑑賞会」(観世流) 2回公演 平成29年4月16日(日)
- ・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流) 2回公演 平成29年10月28日(土)
- ・茂山狂言公演 1回公演 平成29年9月16日(土)
- ・野村万作・萬斎狂言公演 2回公演 平成29年11月11日(土)
- ・馬場あき子特選能楽鑑賞会 1回公演 平成29年12月10日(日)

② 育成・普及事業 (3,561,320)

- ・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く能の楽しみ」 年3回 平成29年4月22日(土)
平成29年11月25日(土)
平成30年2月17日(土)
- ・観世流能楽鑑賞教室(観世文庫共催) 平成29年11月18日(土)
 - 「舞の習い」 8回 平成29年9月27日(水)～11月17日(金)
- ・秋能プレ講座 平成29年10月7日(土)
- ・能楽体験教室 「謡」(学校訪問) 3回 平成29年6月22日(木)
平成30年1月22日(月)
- ・能楽ワークショップ「囃子」(能楽堂・市内小中学校) 平成29年6月7日(水)・8日(木)
- ・能楽ワークショップ「狂言」(能楽堂・市内小中学校) 平成30年2月27日(火)・28日(水)
- ・「さわってみよう能の世界」 1回 平成30年1月20日(土)

(4) 舞踊事業 106,666,981 円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismの活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図った。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育んだ。また、新潟市などとの協働・連携や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することから、全市的及び国内における拠点施設としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上に努めた。

① 新潟発創造事業

- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業
(公演事業)
・Noism1『Liebestod—愛の死』／『Painted Desert』
新潟公演 りゅーとぴあ・劇場 3回公演 平成29年5月26日(金)～28日(日)
埼玉公演 彩の国さいたま芸術劇場 3回公演 平成29年6月2日(金)～4日(日)
・Noism1『Painted Desert』
富山公演 高周波文化ホール 1回公演 平成29年8月11日(金・祝)
・Noism1『NINA・物質化する生け贋』／『The Dream of the Swan』
新潟公演 りゅーとぴあ・劇場 3回公演 平成29年12月15日(金)～17日(日)
埼玉公演 彩の国さいたま芸術劇場 2回公演 平成30年2月17日(土)～18日(日)
・Noism2特別公演『よるのち』
新潟県政記念館(旧新潟県会議事堂) 5回公演 平成29年6月23日(金)～25日(日)
・Noism2定期公演『私を泣かせてください』／『金森穣振付 Noism レパートリー』
りゅーとぴあ・スタジオB 4回公演 平成30年1月26日(金)～28日(日)
(その他受託事業)
・Noism1 近代童話劇シリーズ Vol.2『マッチ売りの話』『passacaglia』ルーマニア公演
主催:国際交流基金
ラドウ・スタンカ国立劇場 平成29年4月5日(水)・6日(木)

- ・Noism1 レオナール・フジタとモデルたち展 特別パフォーマンス『DoGoD』
主催：新潟県立万代島美術館、NST、レオナール・フジタとモデルたち新潟展実行委員会
新潟県立万代島美術館 平成29年8月13日(日)
- ・Noism1 開港5都市景観まちづくり会議2017新潟大会 特別パフォーマンス『碎波』
主催：開港5都市景観まちづくり会議2017新潟大会 実行委員会
(新潟市都市政策部まちづくり推進課内)
新潟日報メディアシップ（日報ホール） 平成29年9月1日(金)
- ・Noism1×みなとぴあプロジェクトマッピング『碎波』
主催：新潟市（文化政策課）
新潟市歴史博物館 みなとぴあ（野外） 平成29年9月15日(金)
- ・Noism2 学校出前公演「火の鳥」（新潟市踊り文化推進事業）
新潟市立曾野木中学校 平成29年9月20日(水)
新潟市立小新中学校 平成29年9月21日(木)
- ・Noism1 「NINA・物質化する生け贋」韓国公演
主催：Daegu Metropolitan City, Daegu Arts Center
Daegu Arts Center (Palgonghall) 平成29年10月22日(日)
- ・Noism1 「NINA・物質化する生け贋」中国公演
主催：中国BeSeTo委員会
Zhejiang Concert Hall 平成29年11月8日(水)・9日(木)
- ・Noism1 「NINA・物質化する生け贋」中国公演
主催：香港城市当代舞团有限公司
Kwai Tsing Theatre 平成29年11月24日(金)

② 普及事業

- ・「柳都会」第17回 廣川玉枝×金森穣 りゅーとぴあ・能楽堂 平成29年12月3日(日)
- 「柳都会」第18回 茂木健一郎×金森穣 りゅーとぴあ・能楽堂 平成30年2月4日(日)
- ・Noism レパートリーワークショップ
彩の国さいたま芸術劇場（地下2階 大練習室） 平成30年1月17日(水)
- ・Noism ワンデイスクール事業（新潟市踊り文化推進事業）
りゅーとぴあ・スタジオB 平成30年3月11日(日)

(5) 共催事業 496, 482 円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。

また、4月28日～30日に開催されたクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟2017」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ、合わせて広範な集客を図った。

- ・ラ・フォル・ジュルネ新潟2017 平成29年4月28日(金)～4月30日(日)
- ・小野リサ ボサノバコンサート 平成29年9月18日(月・祝)
- ・辻井伸行&ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団 平成29年10月9日(月・祝)
- ・ロシア国立交響楽団 平成29年11月12日(日)

・キエフ国立交響楽団	平成 29 年 12 月 23 日(土)
・第 65 回新潟市芸能まつり	平成 29 年 9 月～12 月音文ほか
・「第 14 回劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」	平成 30 年 1 月 14 日(日)
・近藤誠一トークシリーズ「訊く」第 5 回	平成 29 年 11 月 15 日(水)
・七代目 市山七十郎 襲名披露「市山会」	平成 30 年 2 月 17 日(土)

(6) 広報営業事業 17, 834, 331 円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。

なお、平成 27 年度から指定管理を受託した新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高めるための広報を展開した。

- ・広報・営業事業
- ・音楽広報事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 1, 263, 736 円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めた。

(8) 事業企画諸費 12, 736, 568 円

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信した。

- ・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・専属オルガニスト
- ・演劇企画プロデューサー

(9) 事業管理経費 18, 096, 732 円

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めた。

2 文化施設管理受託事業 667, 020, 901 円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 540, 174, 011 円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 29 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

※ 平成29年度市民芸術文化会館入館者数 257, 654 人

(2) 音楽文化会館管理事業 126, 846, 890 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 29 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

※ 平成29年度音楽文化会館入館者数 165, 108 人

1 文化事業 14,741,572 円

大小の専門ホールなどの諸施設を活用した、大規模で質の高い、多様な鑑賞事業を展開するとともに、芸術の普及と県内の文化を担う人材の育成を図るための事業を実施した。

また 27 年度より、チケット購入システムや広報媒体について、市民芸術文化会館との共用を開始し、利用者の利便性の向上と事業の拡大・促進を図った。

(1) 歌舞伎事業

・歌舞伎プレセミナー（夏公演）	1回公演	平成 29 年 7 月 1 日（土）
・松竹大歌舞伎（夏公演）	2回公演	平成 29 年 7 月 15 日（土）
・松竹大歌舞伎（秋公演）	1回公演	平成 29 年 11 月 1 日（水）
・市川海老蔵「源氏物語」	2回公演	平成 30 年 3 月 25 日（日）

(2) オペラ事業

・ハンガリー国立歌劇場「こうもり」	1回公演	平成 29 年 10 月 29 日（日）
-------------------	------	----------------------

(3) 舞踊事業

・モスクワ・クラシック・バレエ「くるみ割り人形」	1回公演	平成 29 年 12 月 4 日（月）
--------------------------	------	---------------------

(4) ミュージカル事業

・劇団四季「アンデルセン」	1回公演	平成 29 年 8 月 4 日（金）
・ミュージカル「フロッグとトード」	1回公演	平成 29 月 8 月 14 日（月）
・宝塚歌劇「月組 全国ツアー」	4回公演	平成 29 年 11 月 22 日（水）・23 日（木）

(5) 音楽事業

・坂東玉三郎×鼓童「幽玄」	3回公演	平成 29 年 5 月 26 日（金）～28 日（日）
・新潟市ジュニア合唱団 定期演奏会	1回公演	平成 29 年 7 月 23 日（日）
・フジコ・ヘミング＆ブダペスト・フィルハーモニー	1回公演	平成 29 年 11 月 18 日（土）
・鼓童「打男 DADAN2017」	1回公演	平成 29 年 11 月 27 日（月）
・ワルシャワ国立フィルハーモニー	1回公演	平成 30 年 1 月 12 日（金）
・シルク・ド・ラ・シンフォニー	1回公演	平成 30 年 1 月 14 日（日）

(6) 普及事業

・スタイルウェイピアノを弾こう	1回	平成 30 年 3 月 10 日（土）
・佐渡太鼓体験交流館「出張！たたこう館」	3回	平成 30 年 3 月 11 日（日）
・アウトリーチ「太鼓体験ワークショップ」	1回	平成 30 年 3 月 12 日（月）
・音楽アウトリーチ「春のジョイントコンサート」	1回	平成 30 年 3 月 18 日（日）

(7) 育成事業

・アート・プロデュース講座	1回	平成 30 年 2 月 13 日（火）
---------------	----	---------------------

2 文化施設管理受託事業 126,939,887 円

新潟県民会館管理事業

昭和 42 年 12 月に開館した新潟県民会館は、大小のホールと 2 つのギャラリー、4 つの会議室を中心に、コンサートや演劇、美術展、会議など幅広い用途で多くの方々に利用して頂いている。

平成 27 年度より当財団が県民会館の指定管理者となったが、これまで以上にお客様が安心かつ円滑に施設を利用して頂けるよう、上質なサービスの提供に努めるとともに、会館運営のさらなる効率化を図った。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ 会議室、談話室の管理
- ⑤ 展示コーナーの管理

※ 平成29年度新潟県民会館入館者数 312,128 人

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

142, 984, 147 円

1 文化事業 21, 407, 912 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 82, 080 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを6月と1月の2回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 7, 086, 141 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした計4本の企画展を実施した。

① 「え？－近代絵画のわすれもの」展 (1,620,286)

「絵画」や「美術」は、明治初期に西洋思想の影響を受けて生まれた言葉。その理念に当てはまらない何らかの目的をもって描かれた「実用の絵」は生活の中に無数にある。そうした「実用の絵」の歴史的背景を追い、「近代絵画」の死角を探った。

会期中には、「のぞきからくり」の公開組立てや、金井二郎による「絵描き職人による実演とトーク」、当館学芸員による「日本美術の“使い方”」、「近代新潟の“非”美術史」と題する2回の講座を実施した。

開催期間 平成29年4月8日～5月28日 44日間

観覧者数 3,107人（うち有料観覧者 1,824人、無料観覧者 1,283人）

② 「乙女たちの歩み～新潟の女学校と女学生～」展 (2,932,128)

明治32年の高等女学校令発布より、新潟市にも新潟県高等女学校が設置された。本展では新潟の高等女学校の設置や女学生の生活、その後の女学校や女学生を取り巻く制度や環境の変化を紹介しながら、女性をとりまく近代日本の社会を浮かび上がらせた。

会期中は、小山静子（京都大学教授）による特別講演会「男女別学の時代」や、体験プログラム「折り形いろいろ～作法の教本より～」、大人の手芸ワークショップ「女学生の手芸～野ばらのコサージュづくり」などを開催した。また、新潟中央高校地域歴史研究部・新潟青陵高校の有志生徒によるポスターセッション「高校生が読み解くあの頃の流行」をエントランスホールで実施した。

開催期間 平成29年7月15日～9月3日 45日間

観覧者数 4,088人（うち有料観覧者 3,119人、無料観覧者 969人）

③ むかしのくらし展「旅はぼうけん」 (1,512,560)

小学校の单元と連動した企画展。昔と今では、旅の手段や目的、たのしみ方が異なってお

り、それには暮らしの移り変わりが大きく影響している。電気などの動力を用いるようになった時代の旅と、それ以前の旅を展示紹介し、その変化を示した。

会期中は「小田原提灯づくり」や、杵と臼を使った「もちつき一旅のたのしみ茶屋のもち」などのイベントを実施した。

開催期間 平成 29 年 9 月 16 日～11 月 26 日 64 日間

観覧者数 8,304 人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」 (55,296)

「収蔵品展」では、「観光・新潟」をテーマに、明治時代半ば～昭和 30 年代頃までの新潟の観光に関連する写真や絵葉書、地図、観光パンフレットやポスターなどを展示紹介した。

「新収蔵品展」は、平成 29 年度に新たに収蔵した民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から、80 点を選び展示した。

開催期間 平成 30 年 2 月 10 日～3 月 25 日 37 日間

観覧者数 3,524 人（無料観覧者）

(3) 教育普及事業 357, 223 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計 83 回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行ったほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館実習を開催した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生をインターンとして受け入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 10 回、古文書入門講座 全 4 回、館長講座 全 4 回など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、ボランティア主催の春のボランティアフェスティバルを実施した。その他ボランティアによる自主事業を多数開催した。

(4) 施設普及事業 1, 815, 907 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共に、新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を開催した。

堀とさくらのコンサート（4/16）、夕涼みコンサート（8/11）、みなと・しもまち・川まつり（8/20）

② みなとぴあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき（阿賀野川河口を歩く・松浜編）・館長バスター（「ふたたび古代蒲原郡郷名の遺称地を探る」）・館長講演会・学芸員による講座を実施した。

(5) 調査研究事業 488, 430 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 14 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 652, 487 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 開港150周年に向けた歴史文化魅力発信事業 10, 056, 842 円

① 「新潟開港 150 年史」刊行準備

新潟開港は新潟市の近代の発展に大きな影響を及ぼした。そして、新潟開港 150 年は港町として歩んできた新潟の存在意義を振り返る大きな契機となる。そして、その基礎資料となる「新潟開港 150 年史」刊行を平成 30 年に控え、その準備・編さん作業を行った。

② 「玉と鏡の世界－西安・新潟友好交流特別展」開催準備

平成 16 年に新潟市歴史博物館で「長安文物秘宝展」を開催したことが縁で、西安博物院と友好提携しており、平成 29 年に友好提携 10 周年を迎えた。海外に開かれた博物院を開港に重ね、両館（院）の交流を深め、連携・協働して平成 30 年度に特別展を開催するための協議・準備を行った。

③ アニメーション映像の制作

開港場としての新潟を子どもにも分かりやすく紹介するアニメーション映像を制作し、館内で上映することで、みなとまちの歴史と文化に触れる機会を提供するとともに、新たな集客や交流人口拡大を図った。

(8) 歴史発見プロジェクト 868, 802 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

ア 「地図コレクション」展

時代の移り変わりとともに変化する新潟の街の姿をテーマにして、当館で所蔵する新潟市の明治・大正・昭和期の地図 30 点と、関連する新潟市の古い街並みや建物の写真パネル 15 点を展示した。

開催期間 平成 29 年 6 月 10 日～6 月 18 日 8 日間

観覧者数 1,346 人（無料観覧者）

イ 「ワンダーランド近世新潟町」展

自然の作用によって生じた新潟町の特色を不思議さという視点でとらえ、そうした特色を持つ江戸時代の新潟町の様子を、当時の絵図や絵画、近年の発掘調査の成果によって視覚的に紹介した。

会期中に、まちあるき「江戸時代の新潟町を訪ねる」を予定していたが、風雪のため延期し、閉幕後に実施した。

開催期間 平成 29 年 12 月 9 日～平成 30 年 1 月 28 日 38 日間

観覧者数 2,511 人（無料観覧者）

② 史楽講座

「新潟の和風建築と町並みの魅力を楽しむ」をテーマに、外部講師を招き全 4 回の講座を行った。

③ 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全 21 回の実践向け演習を行った。

④ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計 11 回実施した。

2 文化施設管理受託事業 121, 576, 235 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。なお、旧新潟税関庁舎は耐震補強等改修工事のため平成 28 年 6 月から引き続き休館とした。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 平成29年度歴史博物館入館者数 87,930 人

1 文化事業 1,789,110 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 469,358 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「今伝えたい日本のものづくり」展

湊町・新潟で日本文化をまるごと身近で楽しむ春の祭典「アート・ミックス・ジャパン」事業の一つとして開催し、燕市の無形文化財である鎧起銅器「玉川堂（ぎょくせんどう）」の作品を紹介した。

開催期間 平成 29 年 4 月 1 日～4 月 23 日 20 日間

観覧者数 608 人（有料観覧者 567 人、無料観覧者 41 人）

② 「端午の節句飾り」展

端午の節句にあわせて、小澤家伝来の端午の節句飾りを展示した。また、あわせて同時期 GW 中に、重箱や書など小澤家伝来の美術工芸品を特別展示した。

開催期間 平成 29 年 4 月 29 日～5 月 7 日 9 日間

観覧者数 476 人（有料観覧者 453 人、無料観覧者 23 人）

③ 「館柳湾」（たちりゅうわん）展

新潟町ゆかりの書家・館柳湾の書を展示し、江戸期の書を紹介した。

開催期間 平成 29 年 5 月 13 日～5 月 28 日 14 日間

観覧者数 471 人（有料観覧者 454 人 無料観覧者 17 人）

④ 「屏風」展

館の風合いにあわせ、新潟市歴史博物館の協力のもと屏風を展示した。

開催期間 平成 29 年 6 月 17 日～6 月 25 日 8 日間

観覧者数 702 人（有料観覧者 592 人 無料観覧者 110 人）

⑤ 「海のことをもっと知ろう！－海の生き物と漂着ゴミ－」展

一般社団法人 JEAN の協力のもと、海と環境をテーマに日本の海岸に漂着するゴミに焦点を当てた企画展を開催した。

期間中、マリンピア日本海とのスタンプラリーも行い、参加者にはくじ引きで賞品

をプレゼントした。

開催期間 平成 29 年 7 月 8 日～7 月 17 日 9 日間

観覧者数 452 人（有料観覧者 287 人 無料観覧者 165 人）

⑥ 「新潟漆器」展

江戸後期から明治期に制作された竹塗や錦塗（にしきぬり）など多彩な模様の変塗（かわりぬり）と呼ばれる漆器の数々を紹介した。

また、企画展とあわせて、漆器製作の実演を 12 日、体験プログラムとして漆器制作体験を 6 日実施した。

開催期間 平成 29 年 8 月 1 日～8 月 31 日 28 日間

観覧者数 1,276 人（有料観覧者 1,094 人 無料観覧者 182 人）

⑦ 「風呂敷 新潟の心包み」展

戦前から今日までの生活用品の一つである「ふろしき」について、色柄デザインと様々な使い方を作品とともに紹介した。

関連企画として、「ふろしきや」によるふろしき講座も 2 回開催した。

開催期間 平成 29 年 9 月 9 日～9 月 29 日 19 日間

観覧者数 749 人（有料観覧者 710 人 無料観覧者 39 人）

⑧ 「新潟仏壇工芸」展

良質な木地（きじ）材料の檜や杉などを使い、職人技で制作された仏壇を紹介した。

企画展にあわせて、伝統工芸氏による蒔絵実演を 2 日、金具打によるネームプレート作りを 2 日、蒔絵によるネームプレート作りを 1 日開催した。

また、新潟絵屋とのスタンプラリーを行い、先着順に新潟仏壇の工芸技術で作られた景品をプレゼントした。

開催期間 平成 29 年 10 月 7 日～11 月 5 日 27 日間

観覧者数 1,271 人（有料観覧者 990 人 無料観覧者 281 人）

⑨ 「洋燈（らんぷ）」展

新潟ハイカラ文庫の協力のもと、洋燈に関する展示を行った。

開催期間 平成 29 年 11 月 9 日～11 月 19 日 10 日間

観覧者数 398 人（有料観覧者 385 人 無料観覧者 13 人）

⑩ 「本町通一むかしの町なみとくらしー」展

ボランティア・ガイドによる市民参加型事業として開催し、写真や解説をパネルにして紹介した。

開催期間 平成 29 年 11 月 25 日～平成 30 年 2 月 12 日 57 日間

観覧者数 899 人（有料観覧者 754 人 無料観覧者 145 人）

⑪ 「ひな人形とかくらり人形」展

当館所蔵のひな人形とともに個人蔵の明治・大正期のひな人形や江戸時代のからくり人形を道具蔵や藤の間で展示紹介した。

関連企画として、ひな人形作り体験を 1 回、からくり人形の実演を 4 回、筝の演奏会を 1 回開催した。

開催期間 平成 30 年 2 月 24 日～3 月 11 日 14 日間

観覧者数 489 人（有料観覧者 452 人 無料観覧者 37 人）

⑫ 「着物一小澤家の品々」展

小澤家につたわる色とりどりの着物を展示し、むかしの暮らしを紹介した。

開催期間 平成 30 年 3 月 17 日～3 月 31 日 12 日間

観覧者数 356 人（有料観覧者 326 人 無料観覧者 30 人）

(2) 教育普及事業 44,029 円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 「庭園講習会」（6 月 24 日）

長生園の田辺良夫氏を講師に迎え、当館の庭園を鑑賞しながらツツジや松といった庭木の手入れを学ぶ講習会を実施した。

② 「新潟の妖怪のおはなし」（7 月 22 日）

妖怪研究家高橋郁丸氏を招いて、新潟の妖怪についての講演会を行った。

③ 「新潟漆器」展「製作体験」（8 月 6 日・11 日・12 日・13 日・20 日・27 日）

「新潟漆器」展の関連企画として、沈金絵付や箸の研ぎ出し体験を行った。

④ 「風呂敷 新潟の心包み」展「ふろしき講座」（9 月 16 日）

「風呂敷 新潟の心包み」展の関連企画として、ふろしきやによるふろしきの活用講座を行った。

⑤ 「新潟仮壇工芸」展「製作体験」（10 月 8 日・15 日・22 日・29 日・11 月 3 日）

「新潟仮壇工芸」展の関連企画として、金具師の指導による金具打ち体験、蒔絵師による蒔絵実演と蒔絵体験を行った。

⑥ 「立川志の彦 落語会 in 旧小澤家住宅」（11 月 25 日）

旧小澤家活用実行委員会との共催。落語家の立川志の彦氏を招いて落語会を開催した。親子で楽しめる午前の部と、一般向けの午後の部の 2 部構成。

⑦ 「お花でつくるクリスマス飾り」（11 月 26 日）

水曜日のお花の会の協力を得て、花や枝を使ったクリスマスらしいフラワー アレンジメント作りの体験を行った。

⑧ 「ユーモア」たっぷりの江戸『からくり人形』実演会（12 月 16 日・17 日）

越後大郷からくり館の館長・日根之和氏による、からくり人形の実演を行った。

⑨ 「稻穂で正月飾りづくり」（12 月 17 日）

新潟アグリクラフトから講師を招いて、稻穂等の自然の素材による製作体験を行った。

⑩ 博学（産）民連携

小・中学校については、総合学習の要望に応え、みなと町新潟の歴史と旧小澤家住宅との関連について解説を行った。

新潟大学工学部建設学科建築学コースの学生および下本町商店会、旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会、みち Lab. とともに「しも町」の賑わいと活性化を目的とした連携事業を展開し、景観を活かした町づくりについて地域住民と考える「きなせや下町」という発表会・意見交換会を 1 月 27 日に実施した。

⑪ 「稻わらでつくるひな人形」（2 月 25 日）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、新潟アグリクラフトの講師によ

る、稻わらを使ったひな人形の製作体験を行った。

⑫ 「からくり人形の実演」（3月3日・4日）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、越後大郷からくり館の館長・日根之和氏によるからくり人形の実演を行った。展示品である江戸時代のからくり人形も動かした。

⑬ ボランティア育成

ボランティア定例会を開き、また、ボランティア企画「本町通一むかしの町なみくらしー」展の開催に向け勉強会および準備作業を行った。

(3) 施設普及事業 1, 236, 250 円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 山野草の展示（5月13日～23日）

下本町商店街の「花や木下」の協力を得て、通り土間にさまざまな山野草を展示了。

② 応接セットの展示（5月16日～28日）

藤の間に応接セットを設置し、かつての様子を再現した。

③ 夏至祭（6月17日、18日）

夏至の日に合わせて開催。DAIDOCO、SUZUKI COFFEE ROASTERS、BarBookBox の協力を得て、かき氷やお菓子、ハンドドリップコーヒー、日本酒やカクテルや和菓子を提供し、松の間で飲食ができるようにした。

荒木奈緒子氏による、アコーディオンの演奏も行った。

また、特別夜間開館や非公開部分の公開、庭園のライトアップも行った。

父の日にあわせ、家族で来館した父親には記念品を進呈した（漆塗つまようじ）。

夏の町家の雰囲気を盛り上げるため、和服での来館者は入館料無料とした。

④ フレッシュ本町まつり（7月23日）

本町12番町・13番町（下本町）のまつりを、下本町商店会、千体仏を守る会とともに共同主催し、当日限り入館料を無料にした。

入船地蔵尊・フレッシュ本町（下本町商店街）とのスタンプラリーも行った。

⑤ ウエルカム下本町（11月11日・12日）

下本町商店会との共催。下本町のまつりにあわせて、旧小澤家住宅の入館者に下本町商店街の特定の店舗で使える200円割引券を配布し、箸の研ぎ出し体験を1回行った。

⑥ 秋の大文化祭（11月23日）

勤労感謝の日にあわせて、市民によるお座敷ライブ演奏、SugarCOATによる紅茶とお菓子の販売、6/7によるパンの販売、BarBookBoxによる日本酒・カクテルの販売などを行った。

新潟市内の作家によるワークショップおよび作品の展示販売、非公開部分の公開や特別夜間開館も行った。

また、旧小澤家住宅の周辺では、大文化祭の開催にあわせて旧小澤家住宅周辺の歴

史的町並みを考える会による、町並みのライトアップも行われた。

⑦ 年忘れ煎茶会（12月23日）

煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。

待合では、越後大郷からくり館の館長・日根之和氏によるからくり人形（茶運び人形と文字書き人形）の実演を行った。

⑧ 花で彩る（2月17日～25日）

フラワー・アレンジメント教室「水曜日のお花の会」の協力により、薄暗くなりがちな冬の旧小澤家住宅を色とりどりの花で彩った。今回のテーマは「ひなまつり」。

2月17日には、「水曜日のお花の会」によるフラワー・アレンジメント体験講座も行った。

⑨ 箏の演奏会（2月25日）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、市民団体による箏の演奏会を開き、春の訪れを感じられる曲を演奏した。

⑩ 日本酒の昼べ（3月17日）

Bar Book BoxのJun氏を招いて、文化財の雰囲気の中で新潟県内および県外の日本酒の楽しみかたを学んだ。今回のテーマは「酵母菌」。

市内のレストランにお願いした特別料理で、食事とのあわせかたについても学んだ。

(4) 調査研究事業 8,205 円

小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、小澤家やみなと町新潟の歴史について市民の理解を深めることを試みた。

また、その成果を「小澤家の品々」展などで展示紹介した。

① 旧小澤家住宅周辺に残る歴史的町並みを保全・活用し、地域の活性化に寄与することを目的とした「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」の活動に賛助会員として参加した。

② 館ボランティアとともに本町通の調査を行い、その成果を企画展として公開した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 31,268 円

前年度に引き続き資料と台帳データのつきあわせ作業を行い、確認作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 14,512,017 円

旧小澤家住宅管理事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 平成29年度旧小澤家住宅入館者数 15,396 人

1 付帯事業 32, 133, 956 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 28, 779, 746 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの充実
- ④ バックステージツアの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 2, 685, 254 円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 喫茶室、自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 新潟県民会館付帯事業 44, 460 円

来館者へのサービスをより充実させるため、鑑賞用グッズの販売や他館で開催される催し物チケットの受託販売、各種自動販売機の設置などを実施した。

- ① 貸館チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 564, 388 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 60, 108 円

新潟漆器、ふろしき、バッグなどを委託で販売。季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐいなどオリジナルグッズの開発にも力を入れており、平成 29 年度は旧小澤家住宅オリジナルの「しもまちマスキングテープ」を作成した。(販売は平成 30 年度から)

2 施設貸与事業 223, 298, 140 円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 市民芸術文化会館 | (63,372,370) |
| ② 音楽文化会館 | (1,670,729) |
| ③ 県民会館 | (69,866,139) |
| ④ 歴史博物館 | (74,831,253) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (13,557,649) |